

〈熊本支部例会事前抄録〉

日時：2025年1月14日（火）19:30～

会場：添島歯科クリニック研修室

— 一般講演抄録 —

欠損放置により咬合崩壊した患者の治療計画

脇デンタルクリニック 脇 勇士郎 〒869-2301 熊本県阿蘇市内牧 1671-16

■抄録

開業して2年が経過し、さまざまな症状を訴える患者に日々悩まされている毎日だが、その1つが欠損放置により咬合崩壊してしまったケースだ。地域柄なのかもしれないが「義歯を作製してもめんどくさいから使わなかった」、「歯を抜いたけど食事ができるからそのまま放置していた」などの理由で欠損放置されている方がとても多く来院される。

患者は60歳の男性で右下歯茎の痛みを訴え来院された。口腔内所見として、上顎両側臼歯部が著しく挺出しており、患部は欠損放置により挺出した対合歯が嚙みこんでいる状態だった。問診したところ、8年前に下顎大白歯を抜歯し、そのまま放置していたとのことだった。

治療計画を立てる段階で、この挺出歯についての対応に悩んだため、今回相談症例として発表することで、諸先輩方のアドバイスを頂きたい。

スライドの内容から構成、発表の態度まで、諸先生方の御意見、御指導を頂きたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

本演題に関して開示すべき利益相反状態はありません。